

### 新型インフル 対策用噴霧器

マルシンユタカが販売

建築塗装業のマルシンユタカ(静岡市葵区、鈴木信年社長)は、新型インフルエンザ予防対策で使用する薬品小型噴霧器の販売を始めた。超微細の霧となった薬品を扇面に結露することなく、隅

々まで部屋中に浸透させ、どこで使用されている。既に市内の幼稚園などアスベスト撤去や封じ



新型インフルエンザ予防対策として販売を始めた薬品小型噴霧器。静岡市葵区のマルシンユタカ

込め作業に使用する噴霧器を応用し、ノズル内の霧をらせん状にすることで細かく、均一な霧を噴射できる。霧の粒子は7μ以下で空中浮遊時間が長く、家具の裏側や机の下にも薬剤が回り、「効果的にウイルスを捕まえることができる」(鈴木社長)としている。

10月から市内2幼稚園

と都内の小児科医院で使用されている。パチンコ店や工場、タクシー会社などから引き合いがあるという。鈴木社長は「ノズルの利用法が今後多目的に生まれる可能性がある」と期待し、ハウス栽培の農薬散布用にも応用を検討している。